

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 2 区分

【発行日】平成22年11月4日(2010.11.4)

【公表番号】特表2010-504645(P2010-504645A)

【公表日】平成22年2月12日(2010.2.12)

【年通号数】公開・登録公報2010-006

【出願番号】特願2009-529311(P2009-529311)

【国際特許分類】

H 0 1 L 33/48 (2010.01)

【F I】

H 0 1 L 33/00 4 0 0

【手続補正書】

【提出日】平成22年9月13日(2010.9.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

伸長導線ケーブルであって、前記伸長導線ケーブルの長さに沿って延びる第 1 導線及び第 2 導線と、第 1 導線と第 2 導線との間に設けられた熱伝導性電気絶縁ポリマー層とを有し、第 2 の電気絶縁ポリマー層が、前記第 1 導線又は第 2 導線上に設けられ、前記電気絶縁ポリマー層が、 $2.5 \text{ cm}^2/\text{W}$ から $15 \text{ cm}^2/\text{W}$ の範囲内の熱インピーダンスを有する伸長導線ケーブルと、

前記伸長導線ケーブルの長さに沿って設けられた複数の発光ダイオードであって、各々が、前記第 1 導線及び第 2 導線と電気接続する複数の発光ダイオードとを備える熱伝導性 L E D 組立体。

【請求項 2】

前記伸長導線ケーブルが、ある厚さ及びある幅、並びに 5 を超える幅 / 厚さのアスペクト比を有する、請求項 1 に記載の熱伝導性 L E D 組立体。

【請求項 3】

前記複数の発光ダイオードが、前記伸長導線ケーブルの長さ及び幅に沿って設けられ、発光ダイオードの 2 次元配列を形成する、請求項 1 に記載の熱伝導性 L E D 組立体。

【請求項 4】

前記第 1 導線及び第 2 導線がパターン格子層である、請求項 1 に記載の熱伝導性 L E D 組立体。

【請求項 5】

熱伝導性 L E D 組立体を形成する方法であって、

熱伝導性電気絶縁ポリマー層を第 1 導線と第 2 導線との間に設け、第 2 の電気絶縁ポリマー層を前記第 1 導線又は第 2 導線上に設けて、ある長さの伸長導線ケーブルを形成する工程であって、前記電気絶縁ポリマー層が、 $2.5 \text{ cm}^2/\text{W}$ から $15 \text{ cm}^2/\text{W}$ の範囲内の熱インピーダンスを有する工程と、

複数の L E D を前記長さの伸長導線ケーブル上に配置する工程であって、各 L E D が、前記第 1 導線及び前記第 2 導線と電気接続して、熱伝導性 L E D 組立体を形成する工程とを含む方法。